

人間が自然への継続的な働きかけ → 生物多様性の維持  
 (イダカやオオムラサキ、カシワなど) : 水田  
 (カタクリ、カンアオイなど) : 落葉広葉樹林



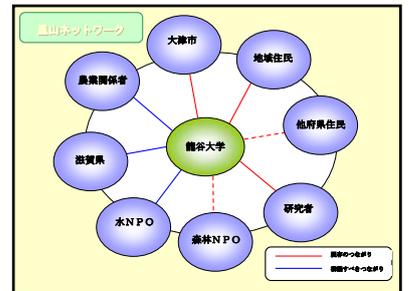
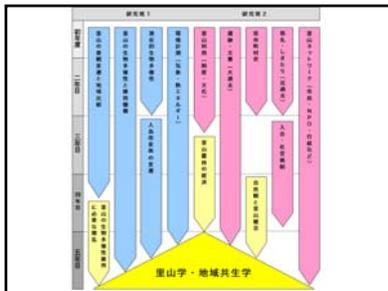
1947年

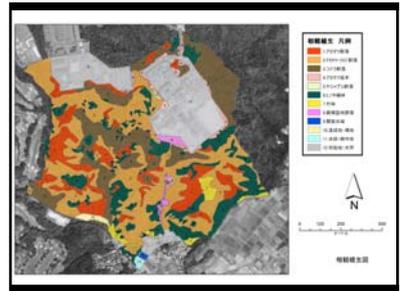
2000年

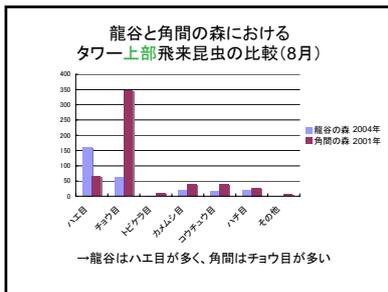
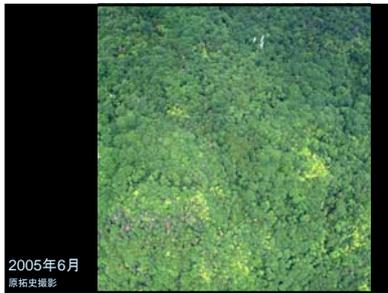


### 里山ORCの活動

(里山学・地域共生学オープン・リサーチ・センター)  
 “人とつなぐ 未来をひらく 麓谷の森”











シイタケの植菌 REC親子自然観察教室



シイタケほだ場(南東斜面) 山中勝次氏の指導



里山の楽しみ きのご鍋



野外レクチャー  
きのご・山菜の採集文化  
齋藤暖生(京大農学部)



落葉かきと腐葉土作り





カトムシ 719個体(2006.1.21), 202個体(2005.1.15)



多世代参加型里山ワークショップ 里山アート  
森田実穂(京都造形芸術大学)



多世代参加型  
里山ワークショップ  
木の幹のプロッタージュ



多世代参加型里山ワークショップ  
3原色を使った葉のプリント



里山アートクラブ  
龍谷大学学生・京都造形芸術大との協働  
小学校の自然体験教育への参加

こまとけん玉作り

どんぐりトロ作り



むしむし探検隊

小学校の総合学習

- 冬季の虫さがし隊
- 造作り隊
- 落葉(こなは)かき隊
- 里山アート

龍谷大学・学生  
おおつ環境フォーラム



「脱りの森」事業への協力



バイオトイレ



ペダル操作型  
バイオトイレ



瀬田周辺の歴史の重層 森・里・人の関わり

2005年9月28日

太神山の不動寺の祭り



若宮八幡宮  
湯立て神事

共存の森メンバーによる聞き書き



里山サークルのっ子



陶芸サークルの活動





**国際シンポジウム**

タイトル	国際シンポジウム『里山とは何か—自然と文化の多様性』
日時	2006年12月16日(土) シンポジウム13:00~17:00
会場	龍谷大学 深草学舎21号館6階 603教室
内容	講演者: 密浦 富保(龍谷大学 理工学部教授、里山ORCセンター長) Wolfgang Holzner (オーストリア: Univ. of Natural Resources and Applied Life Science, Vienna) 江南 和幸(龍谷大学 理工学部教授、里山ORC研究スタッフ) Cheol Ho Park (韓国: Kangwon National Univ.) 須藤 隆(龍谷大学 国際文化学部教授、里山ORC研究スタッフ) ※17日(日)には龍谷大学瀬田学舎「龍谷の森」にてエキスカッションを企画しています。

シンポジウム